

令和五年十二月十五日

清魂の儀

神 示

運命実体で生きる人間は

「教え」に生きて 「実体」を高めるほどに

「運命」の力が引き出され

神魂の運命に重なり 「人生」守られる

人生守られ この世の極楽を体験するために 人間は

「心」神魂に預け

「教え」を人生の支えに 「生きる」真実が必要

心正しい信者の姿とは何か

「教え」を学び 祈願で「実体」を修正する

この日々を意識することで

精神世界に「生きる」心が育つ

神魂の運命が宿された分魂を 信者は新たな年に預かり

一年の姿を知り

朝夕 朝夕 祈願で「教え」に生きる信念を誓う

そこに 祈願が通り

今年も 神の手の中 実体を引き上げられて

病気 事故・災難を引き込まずに 歩み抜ける

迎える年も 心正しく信者の道を歩むこと

この決意が 神魂の運命に重なる「運命」を引き出す